

Q：政府事故調査委員会が公表した中間報告書を解説して下さい。

A：東電福島第一原発事故について、政府の事故調査、検証委員会が12月26日中間報告書を公表しました。

この調査・検証委員会は政府によって任命された委員によって構成されておりますが、委員長は畑村洋太郎東大名誉教授、失敗学 というユニークな分野を学問として成立させた失敗学の第一人者で、今回の事故はまさに失敗の連続でしたから最適の人事だと任命権者の英断を歓迎します。

委員は9名で原子力関係は放射線医学の放射線防護センター長・柿沼志津子氏一人で、他は元外交官、元検事長、元学長、現役の弁護士等、更に柳田邦夫氏（作家）、古川道郎氏（川俣町長）の各氏ですから、専門外の人々の眼から、あるいは被害者側の眼から見たあらゆる視点から真実に迫る斬り込みを期待します。

これまで行ってきた事故調査等はその道の専門家や役人に委ね、身内の判断で玉虫色の報告書を纏め、それで幕引きを謀るケースが多かったことを思えば、今回の委員会は専門家はおらず、他分野の権威の方々によって十分に失敗点を焙りだし、今後の方策に生かせることを期待しております。

アメリカでの事故・検証委員会は全て他分野の専門家が任命され、あらゆる分野からスポットを照射していく方式をとっており、いい方法だなと感心しておりましたが、やっと我が国でも、その方式が採用されました。



（中間報告書を野田総理へ提出する畑村委員長）